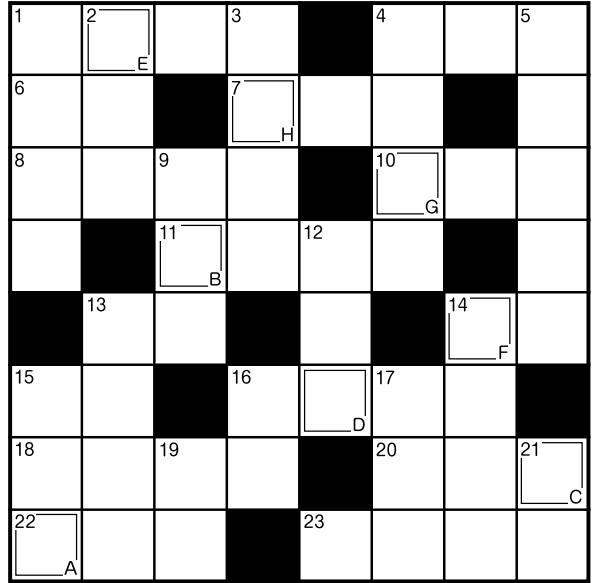


ヨコのヒント

- 最高気温が25℃以上の日を「夏日」、30℃以上の日を「真夏日」、35℃以上の日を「〇〇〇〇日」といいます。
- 〇〇〇を放つ。「際立って優れている」という意味です。
- 天竜川の水源地でもある〇〇湖。その周辺では、戦前は製糸業が盛んでしたが、現在は精密機械工業が発達しています。
- 今年の夏の土用の丑の日は7月24日と8月5日。この日に食べる人も多いのでは？
- 新しい物事を始めて、その発展の基礎を作ること。また、そうした人。
- これからどうなるかを得られた情報から考えること。
- 亡くなった人をしのび、その死を悲しむこと。
- に当たる、□なきを得る、□を構える。□に共通して入る漢字の読みは？
- 三重県東部の〇〇半島。南部にはリアス海岸が見られ、真珠の養殖が盛んです。
- 配□、放□、□辞、□迎。□に共通して入る漢字の読みは？
- 万事〇〇〇〇。「もうどうすることもできない」という意味です。
- 俵屋宗達たかやぶ かつたかは江戸時代初期の画家。代表作に「風神〇〇〇〇図屏風」があります。
- 以前とはすっかり違ってしまっている。「影も〇〇〇もない」といいます。
- 〇〇〇が入る。「長い間、修練を積んで、腕前が優れている」という意味です。
- 「音楽の都」とも呼ばれるオーストリアの首都は？



【答え】

A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---

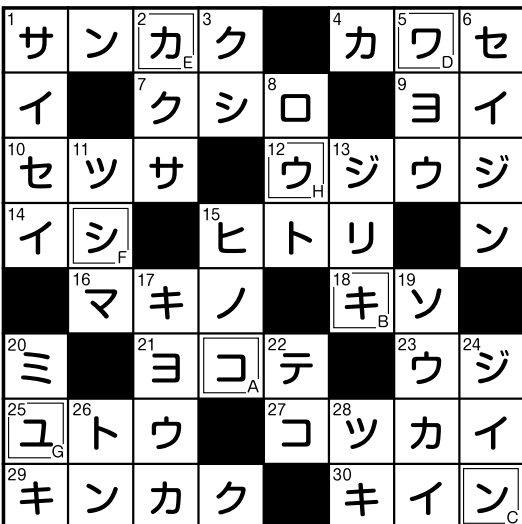
- 21 □殿、□着冷静、意気消□。□に共通して入る漢字の読みは？
- 19 ちよつど良い時。チャンス。「〇〇〇〇」をみて、計画を話す。「〇〇〇〇到来」など使います。漢字を間違えないように。
- 17 「木曾三川」の二つ、長良川。夏に行われる〇〇〇〇が有名です。
- 16 黙つていることのほつが、よくしゃべることよりも価値がある。「沈黙は〇〇」といいます。
- 15 とも世に達坂たつぱんの関はゆるせに「清少納言」
- 14 男のきょうだいは英語で「ブラザー」。では、女のきょうだいは？
- 13 月日のこと。月日がたつのが早いことを「〇〇〇〇矢のごごと」といいます。
- 12 〇〇〇空拳くうけん。「資金・地位など頼るものがなく、自分の身一つである」という意味です。
- 9 電力の単位。1〇〇〇〇は1ホルトの電圧で1アンペアの電流が1秒間流れるときの電力。
- 5 多数の国宝・重要文化財を所蔵する広島県の〇〇〇〇神社。世界文化遺産にも登録されています。
- 4 歴史に残るような、立派な仕事。
- 3 卵を産ませたり肉をとったりするために、「ロフトリを飼つた」。
- 2 世間の人が言い広める、不確かな話。風評。
- 1 〇〇〇〇はロシアの首都です。

タテのヒント

前月号の解答と解説

【答え】

A	B	C	D	E	F	G	H
コ	キ	ン	ワ	カ	シ	ユ	ウ



★古今和歌集

『古今和歌集』は、平安時代中期の905年、当時の醍醐天皇の命令により、「土佐日記」の作者としても知られる歌人・紀貫之など4人の選者が編さんした、初めての勅撰和歌集（天皇・上皇・法皇の命令によってつくられる和歌集）です。奈良時代後半にまとめられた現存する日本最古の歌集『万葉集』以後の約1100首が全20巻に収められており、そのなかには、国歌「君が代」の歌詞の原型（我が君は千代に八千代に さざれ石の 巖となりて 苔のむすまで）も、作者不明・匿名の「読み人知らず」の歌として収められています。また、このクロスワードパズルでもたびたび問題としている「小倉百人一首」の100首のうちのおよそ4分の1にあたる24首が、この『古今和歌集』から選ばれています。たとえば、「花の色は うつりにけりない いたづらに わが身世にふる なかめせしみに」（小野小町）や、「ちはやぶる 神代もきかず 竜田川からくれなゐに 水くくるとは」（在原業平）などは、もともと『古今和歌集』に収められている歌です。

さて、鎌倉時代を代表する歌人である藤原定家は、この「小倉百人一首」や、後鳥羽上皇の命令によって編さんされた『新古今和歌集』の選者としても知られています。『古今和歌集』の歌の解釈を記した『頭注密勘』でも知られていますが、今年4月にその自筆原本（上・中・下の3冊のうち中・下の2冊）が京都で発見されたと報道され、大きな話題となっています。この『頭注密勘』については、定家を書いたものを別の人が書き写した写本であれば今までにいくつも見つかったのですが、自筆本の存在は知られていませんでした。今回発見された自筆本には、清書された写本と違い、推敲の跡が生々しく残っており、書くスペースがなくなり、紙を貼り付けて書き足している部分もあります。それだけに、定家の古典への解釈のあり方や考え方を正確にたどることができ、『古今和歌集』に向き合おうとした姿勢もひびひと伝わってきます。専門家は「国宝級の発見」と評価しています。

ヨコ

- 三角（さんかく）
- 為替（かわせ）
- 釧路（くしろ）
- 宵（よい）
- 切磋（せつさ）
- うじうじ
- 石（いし）
- 一人（ひとり）
- 牧野（まきの）
- 木曾（きそ）
- 横手（よこて）
- 氏（うじ）
- 湯桶（ゆどう）
- 国会（こっかい）
- 金閣（きんかく）
- 起因（きいん）

タテ

- 再生（さいせい）
- 格差（かくさ）
- 駆使（くし）
- 和洋（わよう）
- 成人（せいじん）
- ろうと
- 対馬（つしま）
- 自力（じりき）
- 火の粉（ひのこ）
- 狂歌（きょうか）
- 爽快（そうかい）
- みゆき
- てこ
- 寺院（じいん）
- トン
- 月（つき）